

ふるさととは今 矢滝城山(祖式町)



▲矢滝城山からのパノラマ風景



▲矢滝城山

**矢滝城山は
東京スカイツリーと
同じ 634m!**

スカイツリーからの眺めも
矢滝城山からの眺めもどちらも最高です!

矢滝城山は、祖式町と温泉津町(西田)の境界に位置する、標高634mの山です。

山頂に立つと、快晴の日は島根半島まで見渡せる海岸線、そして、矢滝城主郭跡から北東に山吹城(412m)、さらに東には、多くの銀が産出されたという仙ノ山(538m)、北西には矢筈城(480m)や城上山(411m)及び馬路高山(499m)など石見銀山遺跡などが一望できます。

1528年大内義隆によって築城されたといわれる矢滝城は、戦国時代に石見銀山の支配権をめぐる激しい争奪戦の舞台となり、石見銀山の守城として重要な拠点でした。

祖式の里には、銀山を目指した武将たちの足跡が数多く刻まれています。矢滝城山に立てば、戦国の武将達の熱い思いが偲べれます。

矢滝城山への行き方

JR大田市駅から車で約30分。JR湯里駅から車で約15分。県道201号の矢滝トンネル東出口(矢滝城の南)に登山口があります。登山口から山頂まで約1時間40分で往復できます。

詳しくは、祖式まちづくりセンター (☎0854-85-2362) まで

表紙 あの時～三瓶グリーンランドの風景(三瓶町)～

表紙は、三瓶グリーンランドの写真です。この写真を撮影された和田爲夫さん(72歳)にお話を聞かせていただきました。

三瓶グリーンランドは、1950年頃に石見交通などによって浮布池周辺につくられ、県内では珍しいレジャー施設でした。グリーンランドの周辺には、バンガローやお土産屋などがあり、家族連れで賑わいをみせていました。表紙に写っている回転ブランコには、20～30分ぐらいの順番待ちの列ができていたそうです。

当時の三瓶山はレジャースポットとして有名で休日には広島県など、県外からも三瓶山を訪れ、自然を満喫していました。冬にはスキー、それ以外の季節には浮布池や西の原、グリーンランドで遊び、四季を通して三瓶山は観光地として賑わいをみせていたそうです。しかし、その後三瓶グリーンランドはレジャーの多様化などの影響で観光客が減少し閉鎖されてしまいました。

現在、三瓶グリーンランドの跡地周辺には、休憩所としてあずま屋が建てられ、三瓶山と浮布池を眺めることができます。



▲三瓶グリーンランド跡地周辺からの眺め

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行/大田市役所総務部まちづくり推進課 TEL: 0854-83-8029 FAX: 0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail: o-matidukuri@iwamigin.jp <http://www.city.ohda.lg.jp/>

“おおだ”の定住サイト「どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/>

どがどが 検索